

# 令和元年度事業実績

## I 事業の経過

我が国の農業・農村を取りまく情勢は、担い手の減少や高齢化の進行に加え、グローバル化の急速な進展など、大きな課題に直面している。

このような状況を踏まえ、本県の農業においては、「かごしま食と農の県民条例に基づく基本方針」に基づき、担い手となる大規模経営体や後継者の確保・育成，6次産業化による付加価値の向上，かごしまブランドの確立，輸出促進による販路の拡大などを推進し、「世界に挑戦する鹿児島」，「農林水産業で日本一に」の実現に取り組んでいる。

また、本県の林業においては、「県森林・林業振興基本計画」に基づき、間伐や再造林等による多様で健全な森林の整備をはじめ、担い手となる人材の確保・育成，県産材の利用拡大と供給対策の強化，特用林産物の産地づくりなどの施策を展開し，森林の公益的機能の発揮と森林資源の循環利用による林業の成長産業化を推進している。

このような中、当協会は、令和元年度において次の4つの事業に取り組んだ。

農業後継者確保・育成対策については、関係機関・団体と連携した「かごしま就農・就業相談会」の開催や東京・大阪での「新・農業人フェア」への参加等により、U・Iターン者等に対する就農・就業相談活動を展開するとともに、農業後継者育成基金を活用した新規就農者や青年農業者グループ等に対する活動費の助成等を行った。

担い手農家の経営改善・向上については、JA野菜担当営農指導員研修の開催や基盤整備予定地区の活性化計画の策定，農産物直売所等のマネジメント活動や「直売所ネットワークかごしま」の推進等に取り組むとともに、農業法人等の労働力不足に対応するため、「県農業労働力支援センター」を運営し，労働力確保に向けた総合的な支援を行った。また、「かごしま6次産業化サポートセンター」を運営し，総合化事業計画の作成支援や認定者へのフォローアップ活動等を通じて，6次産業化の取組を支援した。

農林業技術の改善向上・定着については、県下7地区の農林技術協会の活動支援や農林技術研修会の開催等による農林業技術の改善向上を図るとともに，小中学生と保護者を対象に「農業に触れる体験ツアー」を開催し，農林業への理解促進を図った。

県産農林水産物や加工食品等の安心・安全等については、「かごしまの農林水産物認証制度」（K-GAP）の審査・認証機関として317件，8,627人を認証するとともに「鹿児島県ふるさと認証食品」（3Eマーク）の審査・認証機関として，6品目の305製品を認証した。

### <協会の定款に定める事業>

- 1 農業後継者確保・育成対策に関する事業
- 2 担い手農家の経営改善・向上に関する事業
- 3 農林業技術の改善向上・定着に関する事業
- 4 県産農林水産物や加工食品等の安心・安全等に関する事業

令和元年度の主な行事・業務実績一覧表

主要行事・業務		時期	内容
協会運営関係	会計監査	5/10	平成30年度事業実績・収支決算
	第1回通常理事会	5/13	平成30年度事業実績・収支決算，令和元年度事業計画及び収支予算（案）の一部変更任期満了に伴う役員の改選候補等の承認
	定時総会	6/3	平成30年度事業実績・収支決算，任期満了に伴う役員の改選候補等の承認
	第1回臨時理事会（書面）	6/10	役員の前辞任に伴う理事長，副理事長，専務理事の選任
	内部定期監査	10/3	総勘定元帳，関係通帳等について内部監査
	第2回通常理事会	2/6	令和2年度事業計画・収支予算，期間の定めのない労働契約に関する手続規程（案）及び無期転換職員就業規則（案）並びに服務規程の改正（案）等の承認
	第2回臨時理事会（書面）	3/11	理事の前辞任に伴う新たな理事候補の選任
	第1回臨時総会（書面）	3/25	理事の前辞任に伴う新たな理事の選任
	第3回臨時理事会（書面）	3/30	新たな理事の選任に伴う副理事長の選任
	包括外部監査	12/6	消費税に関する財務事務の執行について
農業後継者育成部関係	就農・就業相談活動	4回 1/18 年間	相談件数 新・農業人フェア（東京・大阪） 59件 かごしま就農・就業相談会 61件 その他 72件
		4回	大都市圏での就業相談会の開催 マイナビ就農FEST（東京・大阪）相談43件
	農業後継者育成基金事業 審査委員会	7/8	基金事業申請者の適否審査 農高・農大就農促進対策事業 12校（1,937千円） 農業青年組織等活動活性化事業 6団体（1,037千円） 農業後継者特別支援事業 13団体（2,510千円）
	農業経営継承対策	年間	移譲・継承希望者への支援，事業理解促進活動
	無料職業紹介	年間	農業法人等 12 企業からの求人数 38件
	農業次世代人材投資事業 確認調査	年間	就農研修状況確認調査 198件

主 要 行 事 ・ 業 務		時 期	内 容	
農 業 経 営 対 策 部 関 係	農家経営診断の実施	年 間	経営実態の分析・診断, 収支改善の提案 2件	
	構造改革推進対策事業 (市町村農業公社連絡協議会 活動の支援)	6 / 7	会計等管理事務の研修	参加者 27名
		7 / 18	新規就農者の研修	参加者 32名
		1 / 21～22	相互検討及び現地研修会 (肝付町, 志布志市)	参加者 26名
	J A野菜担当営農指導員等 研修	9 / 24～27	野菜担当営農指導員の資質向上に係る研修	参加者 7名
	農業農村活性化計画の策定	10月 ～ 2月	農業農村基盤整備事業の実施予定地区の 活性化計画の策定	12地区
	地域農業経営構造確立支援 推進事業			
	・ 経営構造対策事業 実施地区の点検評価	年間	事業実施区で整備した機械・施設の利用向上を目的とした対策検討会の開催	3地区
	・ 農産物直売所等の管理運営 マネジメント活動	年間	農産物直売所等を対象に専門家を交えた個別マネジメント活動 ・ 地場農産物の供給体制強化 ・ 農産直売所と連携した農産加工の取組支援	4直売所 5直売所に係わる6農産物加工農家等, 1加工施設
	・ 「直売所ネットワークかご しま」の推進活動	年間	直売所の経営改善, 売上アップ等に向けた 会員相互の情報共有及び連携強化	92会員
	「直売所ネットワークか ごしま」研修会の開催	鹿児島市 7 / 24	直売所会員を対象にした経営改善, 売上アップ等に向けた研修会の開催	
	農産物直売所と連携した 農産加工グループ等 研修会の開催	曾於市 6 / 26 奄美市 12 / 17	農産加工施設の衛生管理, HACCP手法に準じた農産加工品の製造を実践するための研修会の開催	
	キャッシュレスに関する研修会	始良市 5 / 9	キャッシュレス決済の対応検討会	
・ 「ネットワークかごしま 直売所めぐり」の開催	10～ 2月	県本土の5地区31直売所が参加したシールラリーの開催		
・ 情報収集・提供活動	年 間	事例調査と情報誌等による情報提供		

主 要 行 事 ・ 業 務		時 期	内 容		
農業 経営 対策 部 関係	農業労働力支援事業 ・ 鹿児島県農業労働力支援センターの運営  (活動内容) 労働力の確保に向けた総合的な支援  ・ 鹿児島県農業分野技能実習制度適正推進協議会の運営 (活動内容) 外国人技能実習制度の体制整備と適正推進	4/26	同センター連絡会議	12名	
		年間	農業労働力確保等に関する相談	52件	
			農業労働力補完の仕組みづくり及び各種情報の収集	45件	
			農業労働力支援センターの活動周知・PR及び各種情報の発信	11件	
		4/26	推進協議会総会	22名	
		10/18	農業分野外国人技能実習制度研修会	104名	
3/10 (中止)	監理団体との意見交換会 (新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止)				
年間	外国人技能実習制度等に関する情報収集	16件			
3/27	家畜伝染病(豚熱等)侵入防止啓発チラシの作成・配布 6,000部(9監理団体外)				
6次産業化 推進 部 関係	6次産業化の推進  6次産業化推進会議の開催  商談会での支援	年間	農業者等の相談への対応 218件 農業者・法人等への訪問活動 118回 総合化事業計画の作成支援 プランナー派遣 183回 認定事業者のフォローアップ プランナー派遣 133回		
		7/31	地域振興局・支庁, 市町村担当者に対する6次産業化施策・知財等の情報提供と意見交換	56名	
		10/9～10	九州・山口こだわりの食 大商談会での出展者支援	4事業者	
		2/19～20	フードエキスポ大阪での出展者支援	4事業者	

主 要 行 事 ・ 業 務		時 期	内 容
農 林 業 技 術 部 関 係	機関誌「緑地」の発行 (年3回・各部数 2,550部)	6月	特集：「儲かる茶業経営」を目指して「かごしま茶」未来創造プランを策定しました！ 「鹿児島県森林・林業振興基本計画」について ～「未来とつなぐ多様で健全な森林づくり」と「人が輝き地域が潤う林業・木材産業の実現」を目指して～
		9月	特集：本県農業の持続的発展を目指して「鹿児島県スマート農業推進方針」を策定しました！
		1月	特集：国営かんがい排水事業肝付中部地区の完工について ～台地に畑かん・潤う農業～
	農林技術中央研修会	2/14	講演①「農林漁業を夢のある食産業へ創造する6次産業化」 備後農産創 代表取締役 仲野真人 講演②「これからの人と森の関係を探る～あたらしい森林浴の可能性～」 一般社団法人 森と未来 代表理事 小野なぎさ その他 試験成果等パネル展示 参加者数：318名
	農林業振興担当部課長及び職員研修会	7/30～31	農林業職員を対象にした農林業施策等研修 受講者数：67名
農業に触れる体験ツアー	8/18	農業体験等の実施 ・さつまいも等の収穫体験 ・ドローンの操作体験 等 小中学生23名、保護者20名	
食 の 安 全 推 進 部 関 係	かごしまの農林水産物認証判定委員会	毎月1回	かごしまの農林水産物の認証 ○認証件数 317件 〔農産物 (野菜, 果樹, 米, 茶) 畜産物 (卵) 林産物 (原木栽培きのこ, たけのこ) 水産物 (エビ養殖, 海面魚類養殖) など 64品目〕 ○認証生産者数 8,627人
	ふるさと認証食品認証判定会議	年2回 9/27	ふるさと認証食品の認証 3品目 13業者 150製品 〔いも焼酎, たけのこの水煮, 乾燥きくらげ〕
		3/24	4品目 20業者 155製品 〔いも焼酎, 黒豚みそ, のり佃煮, 寒干したくあん漬け〕

## II 定款に定める事業ごとの実績

### 1 農業後継者確保・育成対策に関する事業（農業後継者育成部）

新規就農者の確保・育成を図るため、就農アドバイザーを設置し、訪問・電話・メール等による個別相談に対応するとともに、関係機関・団体と連携した「かごしま就農・就業相談会」を鹿児島市で開催した。

また、東京・大阪での「新・農業人フェア」や「マイナビ就農FEST」に参加し、U・Iターン者等の就農・就業活動を展開した。相談件数は、その他の相談会等の相談を合わせ235件となった。

鹿児島県農業後継者育成基金（県、市町村、県農協連、農協からの出捐金10億円）については、運用益を活用して、新規就農者や青年農業者グループ等に対し活動費を助成した。また、就農支援資金の既貸付分の管理業務を行った。

農業経営継承事業は、移譲希望登録が8件、継承希望登録が7件あり、マッチングに向けた支援を行った。

厚生労働大臣から許可を得て実施している無料職業紹介事業等は12法人（うち1法人は継続中止）から38人の求人があった。

また、専任の農業次世代資金指導員1名を配置し、農業次世代人材投資資金（準備型）給付中及び給付後の受給者への面談等を通じ、198件の就農状況の確認・報告業務を実施した。



〈新規就農支援ロゴマーク〉

#### (1) 新規就農者強化支援事業（県：補助事業，全国農業会議所：受託事業）

就農・就業相談活動の実績

相談会名	月	場所	主催者	相談件数
新・農業人フェア	7, 9, 1	東京 3回	(株)リクルートジョブズ	44
	11	大阪 1回		15
マイナビ就農FEST	6, 8	東京 2回	(株)マイナビ	22
	8, 2	大阪 2回		21
かごしま就農・就業相談会	1	鹿児島市	協会	61
県立農大就農相談会	7	県立農大	県	9
U・Iターンフェア等	8, 10	鹿児島市		3
本部	随時	協会・県経営技術課，県外事務所等		60
合 計				235

#### (2) 就農・就業を目指す人材育成事業(新規事業 県：受託事業)

小中学生を対象に教育機関と連携しながら、農業への理解促進を図り、仕事としての農業の魅力を紹介するとともに、大都市圏在住の成人を対象に本県農業法人への就業相談の機会を設けるなど就農・就業の促進に努めた。

##### ①農業に触れる体験ツアーの開催

ア 期日・場所：令和元年8月18日（日） 県立農業高等学校

イ 内 容：青果用さつまいも，落花生の収穫体験，県内の農業高校紹介  
アシストスーツの試着体験，ドローンの操作体験等

ウ 参加者：親子17組（小中学生 23名，保護者 20名）

②大都市圏での就業相談会の開催

ア マイナビ就農FEST（再掲）

4回参加（東京2回，大阪2回） 相談件数 43件

(3) 農業後継者育成基金事業の実績(5,844千円)

①新規就農者経営発展支援事業

1名（志布志市），助成額 200千円

②農高・農大就農促進対策事業

ア 農高就農促進対策助成

(単位：千円)

助成団体	事業費	助成額
農業系高校（11校14学科）	2,890	1,297

イ 農大就農促進対策助成

(単位：千円)

事業内容	事業費	助成額
かごしま就農・就業相談会出席，先進農家，農業法人等による講話	202	200

ウ 農大新卒就農者助成

(単位：千円)

応募者数	助成決定数	助成額	就農場所
人 10	人 10	440	知事賞2名：鹿児島市(2) 優秀賞8名：鹿児島市(1) さつま町(1) 薩摩川内市(1) 伊佐市(1) 大崎町(1) 西之表市(1) 喜界町(1) 天城町(1)

③農業青年組織等活動活性化事業

ア 県農業青年組織活動活性化助成

(単位：千円)

応募団体	助成団体	事業費	助成	備考
2	2	427	400	県農協青壮年組織協議会
		421	400	県農業青年クラブ連絡協議会
合	計	848	800	

イ 地域青年農業者等グループ活動活性化助成

(単位：千円)

市町村	団体名	事業費	助成額
霧島市	霧島有機社中(21名)	111	50
	飛翔クラブ(19名)	64	60
大崎市	OSAKI輝け実行委員会(5名)	110	100
喜界町	喜界町農業青年クラブ	27	27
合計	4団体	312	237

④青年農業士育成事業

ア 講座制研修旅費助成

対象申請者なし

イ 青年農業士認定者助成

令和元年度に青年農業士の認定を受けた16名への助成

助成額 160千円

ウ プロジェクト等成果発表者助成

対象申請者なし

⑤農業後継者特別支援事業

(単位：千円)

市町村	団体名	事業費	助成額
指宿市	県立山川高校	217	200
	かごしま農業女子プロジェクト(19名)	193	193
	AGRI倶楽部指宿(19名)	240	200
南さつま市	県立加世田常潤高校	200	200
日置市	農業大学校 農学部野菜科(2)	406	400
	農学部	223	200
	農学部果樹科	212	200
	畜産学部肉用牛科	136	136
	畜産学部酪農科	207	200
	畜産学部養豚科	201	200
阿久根市	県立鶴翔高校	210	200
霧島市	霧島市立国分中央高校	181	181
合計	13団体	2,626	2,510

(4) 農業経営継承事業(全国農業会議所：受託事業)

農業後継者のいない農業者の有する経営資産(農地、機械・施設、技術、経営ノウハウ、販路等)が、将来独立就農を目指す意欲的な新規就農希望者や農業法人等の従業員、研修生等第三者へ円滑に継承されるよう相談活動を行った。

令和元年度 農業経営の第三者継承の係わる実績

単位：人

経営移譲希望登録者数		経営継承希望登録者数		進捗状況					
継続	新規	継続	新規	顔合わせ	事前体験	マッチング成立	経営継承研修	合意書締結	経営開始
3	5	1	6	2	1	0	1	0	0

※経営移譲希望登録者の継続3件のうち1件は、現在、経営継承研修中のためHPからは削除

※本県における、これまでの合意書締結・経営開始件数は4件(野菜1, 養豚2, 水稻1)

(5) 農業次世代人材投資事業(県：受託事業)

専任の農業次世代資金指導員1名を設置し、農業次世代人材投資資金(準備型)給付中及び受給後の受給者への面談やほ場確認等を通じ、就農状況の確認・報告業務にあたりるとともに、農業経営の定着・発展に向けた効果的な支援を実施した。

○対象者の調査件数： 198件

2 担い手農家の経営改善・向上に関する事業(農業経営対策部・6次産業化推進部)

経営体質の強い経営体を目指す認定農業者等の育成を図るため、農業者の経営実態調査や新規就農者、農業公社等の各種研修会の開催等を行うとともに、農産物直売所等の地域の基幹施設を対象にした管理運営の点検・マネジメント活動等を実施した。

また、農業労働力支援センターや6次産業化サポートセンターの運営を通じ、農業法人等の労働力確保や6次産業化の取組を支援した。



(1) 農家経営診断の実施（県経済連：受託事業）

農家の経営状況を調査・分析し，経営・技術の改善方策を提案して園芸農家等の育成を図った。

○農家の経営診断・提案 2件

(2) 構造改革推進対策事業（県経済連：受託事業）

市町村農業公社と連携した園芸関係の新規就農者等担い手の育成，園芸農家の法人化などに取り組み，園芸産地の振興を図った。

①市町村農業公社連絡協議会活動の支援

ア 会計等管理事務の研修 令和元年6月7日（鹿児島市：27名）

イ 新規就農者の研修 令和元年7月18日（鹿児島市：32名）

ウ 相互検討及び現地研修会 令和2年1月21日～22日  
（肝付町，志布志市：26名）

(3) JA野菜担当営農指導員等研修（県経済連：受託事業）

JA野菜担当営農指導員等を対象に，栽培技術や産地育成など現場での指導能力を高めるための研修を実施した。

○基礎研修：令和元年9月24日～9月27日 7名

(4) 農業農村活性化計画の策定（県土改連：受託事業）

農業農村基盤整備事業（中山間地域型及び担い手支援型等）の実施予定地区の農業農村活性化計画を策定した。

○対象地区：12地区

※川南地区（いちき串木野市），第四肝付地区（肝付町），七村地区（曾於市），  
曾於南部地区（志布志市，大崎町），第二曾於南部地区（鹿屋市），  
第三曾於南部地区（志布志市，大崎町），星原地区（中種子町），大川地区（奄美市），  
筒岩地区（和泊町），和地区（和泊町），立花地区（与論町），伊波地区（与論町）

(5) 地域農業経営構造確立支援推進事業（県：補助事業）

経営構造対策事業の確実な効果の発現と基幹施設を中心とした地域づくりへの支援による地域農業の活性化を支援するため，経営構造コンダクターを2名設置し，経営構造対策事業実施地区の点検評価，農産物直売所等の管理運営マネジメント活動，「直売所ネットワークかごしま」の推進活動，各種情報の収集・提供などを実施した。

①経営構造対策事業実施地区の点検評価

ア 点検評価の実施内容

○実施地区における成果目標の達成状況点検

○成果目標の達成状況を現地で精査・指導

イ 目標達成阻害要因分析・改善対策検討

○実施地区の経営管理検討会の開催

（3地区：指宿地区（指宿市），塗木地区（南九州市），薩摩地区（さつま町））

②農産物直売所等の管理運営マネジメント活動

ア マネジメント活動の対象農産物直売所等

○農産物直売所

きいれの杜（鹿児島市），にいななまる（南さつま市），くすくす館（始良市）  
やごろう農土家市（曾於市）

○農産物直売所と連携した農産加工施設や農産加工グループ・事業体

湧水町農畜産物加工開発センター

湧水町アーモンド加工志向農家，霜月農園（湧水町），香輝園（霧島市），  
合同会社 味の郷かさり（奄美市），曾於市6次産業化等支援ネットワーク会員（曾於市），  
奄美大島地区の女性起業加工組織（奄美大島地区）

イ マネジメント活動の主な実施内容

農産物直売所及び農産加工施設の運営に関する専門家を交えた個別指導や研修会の開催

○農産物直売所

課題解決に向けた実践計画の策定，実績検討会の開催

○農産物直売所と連携した農産加工施設や農産加工グループ・事業体

衛生管理，加工開発，販売に関する助言指導や研修会の開催

③「直売所ネットワークかごしま」の推進活動（令和2年3月末現在 92直売所）

ア「直売所ネットワークかごしま」研修会の開催	1回
イ 直売所と連携した農産加工活動等研修会の開催	3回
ウ「直売所シールラリー」の開催	県本土5地区31直売所が参加
エ「直売所ネットワークかごしま」ホームページの更新	92直売所
オ「直売所ネットワークかごしま」通信の配布	1回

④各種情報の調査・収集及び提供

- ア 研修会等を活用した情報収集と提供  
（全国農林水産物直売サミット ほか）
- イ 「経営管理検討会実績書」の配布
- ウ 県内外の経営構造対策関連情報等の収集

**（6）農業労働力支援事業（県担い手・地域営農対策協議会：受託事業）**

農業法人等の経営発展に必要な農業労働力の確保等を支援する「鹿児島県農業労働力支援センター」を運営し，専任の「農業労働力支援員」による農業分野における求人・求職の情報収集，マッチングや労働力軽減につながるスマート農業の紹介等を行った。

また，「鹿児島県農業分野技能実習制度適正推進協議会」と連携し，外国人技能実習制度等の情報収集・提供を行った。

①鹿児島県農業労働力支援センターの活動

ア 農業労働力支援センター連絡会議の開催	1回
イ 農業労働力確保等に関する相談活動	52件
ウ 農業労働力補完の仕組みづくりやスマート農業等の検討及び情報収集	45件
エ 農業労働力支援センターの活動周知など各種情報の発信	11件

②「鹿児島県農業分野技能実習制度適正推進協議会」との連携

- ア 農業分野技能実習制度適正推進協議会総会 平成31年4月26日：自治会館 22名
- イ 農業分野外国人技能実習制度研修会 令和元年10月18日：マリンパレスかごしま 104名

ウ 監理団体との意見交換会 令和2年3月10日（新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止）

エ 外国人技能実習制度等に関する情報収集 16件

オ 家畜伝染病（豚熱等）侵入防止啓発チラシの作成・配布 6,000部  
（令和2年3月27日：9監理団体外）

### （7）6次産業化推進事業（県：受託事業）

6次産業化等の取組を促進するため、「鹿児島6次産業化サポートセンター」を運営し、農業者等の相談への対応、農家・法人等への訪問活動、及び各種相談会等の開催、並びに6次産業化プランナーの派遣などによる総合化事業計画の作成支援、認定者へのフォローアップなどを行った。



〈6次産業化のマーク〉

#### ① 6次産業化に関する相談への対応

ア 農業者等の相談への対応 218件

イ 農業者・法人等への訪問活動 118回

#### ② 6次産業化推進会議の開催及び商談会支援

ア 6次産業化推進会議 1回 参加者数 56名

イ フードエキスポ九州出席者支援 参加者数 4事業者

#### ③ プランナーの派遣による支援

ア 総合化事業計画の作成支援 90件 183回

イ 認定事業者のフォローアップ 44件 133回

ウ 令和元年度新規認定事業者 3業者（令和2年3月末現在 認定事業者64業者）

#### ④ 県内農業者等への周知

ア 「リーフレット」, 「相談の手引き」の改訂配布

イ ホームページの改訂・公開

ウ 「農業かごしま」誌への事業紹介記事の掲載

#### ⑤ 関係機関への認定者、意向者の現況に係る情報提供 4回

#### ⑥ データベースの構築による計画的・効果的な支援体制の整備

## 3 農林業技術の改善向上・定着に関する事業（農林業技術部）

技術革新と情報化の進展、国際化に的確に対応した農林業技術の改善向上が求められる中で、高度な技術を修得し農業者等のニーズに応えるため、農林技術中央研修会等を開催するとともに、機関誌「緑地」の発行等を通じて指導者の技術向上を図った。

### （1）地区活動促進対策事業（自主事業）

各地区での農林業技術者の活動を支援し、地域農林業の振興を図った。

#### ① 県下7地区農林技術協会に対する活動経費の一部交付

#### ② 技連活動促進に係る対策会議等の開催

地区農林技術協会事務局会議：令和元年5月10日（ウェルビューかごしま）

### （2）機関誌等発行事業（自主事業）

農林業指導者を対象に、新政策や新技術情報等について紹介した機関誌「緑地」を年3回、各号2,550部発行した。（228号/夏号6月、229号/秋号9月、230号/春号1月）

### (3) 農林技術研修事業（自主事業）

#### ①農林技術中央研修会

ア 日時・場所：令和2年2月14日 かごしま県民交流センター

イ 参加者：318名

ウ 内 容：講演1「農林漁業を夢のある食産業へ創造する6次産業化」

(株)食農夢創 代表取締役 仲野 真人

講演2「これからの人と森の関係を探る～あたらしい森林浴の可能性～」

一般社団法人 森と未来 代表理事 小野なぎさ

※その他 ～新品種・新技術等のパネル展示紹介・Q&Aコーナー

県農業開発総合センター、県森林技術総合センター

#### ②総合研修会

区 分	時 期	場 所	参集者	内 容
離島総合研修会 (奄美地区)	令和2年 1月18日	奄美市	150人	奄美群島かんきつ振興大会 ・講演、事例発表、現地視察
農林業振興担当 部課長及び職員 研修会	令和元年 7月30～31日	かごしま 県民交流 センター	67人	農林政策課題別講座制研修会 (県農政部、県環境林務部各 課及びJ A県中央会の講義)

### (4) 永年勤続農林業指導者表彰事業（自主事業）

農林業指導者の永年にわたる功労に対し表彰を実施した。

○令和元年度農林業技術員退職者 63名

### (5) 消費者等の農林業理解促進に関する事業

小中学生を対象に教育機関と連携しながら、農業への理解促進を図り、仕事としての農業の魅力を紹介するとともに、農林技術研修会への消費者等の参加を呼びかけ農林業・農山村に対する理解促進を図った。

#### ①農業に触れる体験ツアーの開催(新規事業 県：受託事業 ※再掲)

ア 期日・場所：令和元年8月18日(日) 県立農業高等学校

イ 内 容：青果用さつまいも、落花生の収穫体験、県内の農業高校紹介  
アシストスーツの試着体験、ドローンの操作体験等

ウ 参加者：親子17組(小中学生 23名、保護者 20名)

#### ②農林技術中央研修会（自主事業 ※再掲）

農林業の指導者を対象とした研修会を開催し、情勢の変化に対応できる幅広い知識と技術や施策等について研修するとともに、一般消費者等にも参加を呼びかけ農林業・農山村に対する理解促進を図った。

### (6) 先端技術情報の収集・整理・蓄積・提供等に関する事業

先端技術情報、地域農林業の振興に関する情報、生産・流通情報等の内容充実や各部の的確な情報更新を図り、各種媒体を通して会員並びに消費者等、不特定多数の県民に対して積極的な情報発信に取り組んだ。

- ①機関誌「緑地」（年3回発行）による情報提供
- ②ホームページ「さくらじまネット21」の内容充実と的確な更新
  - ホームページ訪問数：39,471件（令和2年3月末現在）
  - かごしまの農林水産物認証状況や就農相談情報、直売所情報等を掲載

#### 4 県産農林水産物や加工食品等の安心・安全等に関する事業（食の安全推進部）

県では、消費者の食の安心・安全に対する関心が高まっている中で、安心・安全な食の供給に係る認証制度の取組や、消費者に顔の見える農林水産業の推進に努め、本県農林水産物に対する消費者の安心と信頼の確保を図っている。

当協会は、県から「かごしまの農林水産物」と「ふるさと認証食品」の審査・認証機関として指定されており、県の基準に基づき審査・認証業務を行った。

##### (1) かごしまの農林水産物審査・認証事業（審査・認証機関）

東串良町ピーマンの再認証（16回目）など、野菜207件、果樹50件、米21件、たけのこ2件、原木栽培きのこ9件、菌床栽培きのこ4件、卵5件、茶16件、エビ養殖2件、海面魚類養殖1件の合計317件（新規14件、再認証303件）の農林水産物を認証した。



< K-GAPマーク >

##### ○かごしまの農林水産物の認証実績

認証の区分	令和元年度	
	認証件数	認証生産者数
野菜	207	6,816
果樹	50	1,058
米	21	181
たけのこ	2	8
原木栽培きのこ	9	15
菌床栽培きのこ	4	4
卵	5	21
茶	16	513
エビ養殖	2	2
海面魚類養殖	1	9
計	317	8,627

※茶の認証工場数は(185)

##### (2) ふるさと認証食品の審査・認証事業（審査・認証機関）

県では、県内に古くからある伝統の製造方法による食品や、特徴ある県産原材料の良さを活かした食品、独自の技術により生産された特色のある食品について、製造方法や使用原材料等の基準を定め、これに適合するものを「ふるさと認証食品」として認証し、品質のよい地域の特産品の振興を図っており、当協会は、現在、28品目の対象のうち20品目の審査・認証機関となっている。



< 3Eマーク >

令和元年度は、前期に「いも焼酎」をはじめ3品目について13業者150製品、後期も「いも焼酎」をはじめ4品目について20業者155製品、合計で6品目、33業者、305製品を認証した。

【参考】認証された製品については、3年間、Excellent Quality（優れた品質）、Exact Expression（正確な表示）、Harmony with Ecology（地域の環境との調和）を証明する「3Eマーク」を付けて販売できる。

○ふるさと認証食品の認証実績（令和元年度）

品目名	前期(9/27)		後期(3/24)		合 計	
	業者数	製品数	業者数	製品数	業者数(証へ)	製品数
いも焼酎	11	142	17	152	28	294
黒豚みそ			1	1	1	1
のり佃煮			1	1	1	1
寒干したくあん漬け			1	1	1	1
たけのこの水煮	1	6			1	6
乾燥きくらげ	1	2			1	2
計	13	150	20	155	33	305